

鳥インフルエンザ防疫措置への対応

～建設業協会の御尽力に感謝～

盛岡広域振興局土木部・県北広域振興局土木部二戸土木センター

新年早々から立て続けに発生した、県内では過去最大規模の高病原性鳥インフルエンザの防疫対応について、一般社団法人岩手県建設業協会をはじめ、自衛隊や市町村、民間企業からの御支援や御協力をいただきながら防疫措置を行ったことにより、感染の拡大防止が図られました。

建設業協会による使命感をもった昼夜を問わない運搬・埋却作業の結果、迅速に防疫措置が完了し、岩手の主要産業であるプロイラー産業を守ることができました。御尽力に感謝いたします。

地域の建設業は、県民の安全・安心な暮らしの「守り手」であることから、今後も建設業の必要性・重要性について、広報活動に取り組んでいきます。

令和6年度 鳥インフルエンザ発生状況

発生場所	件数	殺処分数	協力企業	延べ日数
盛岡市	4件	1,185,000羽	25企業	20日
軽米町	1件	48,000羽	18企業	4日

知事による現地協会支部への謝意・激励



令和7年1月23日
 渋民運動公園総合体育館

達増知事が高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の活動拠点となっている渋民運動公園総合体育館を訪れ、24時間体制で現地での防疫作業に携わる建設業協会盛岡支部の作業員等に謝意を伝えるとともに、防疫作業完遂に向けて激励しました。

建設業協会による防疫作業の状況（盛岡市での発生事案）



① 埋却溝の掘削



② 運搬・埋却作業



③ 消石灰散布による消毒作業



④ 埋却作業完了

建設業協会二戸支部への感謝

令和7年1月20日
建設業協会二戸支部会館

令和7年1月5日に軽米町の農場で発生した高病原性鳥インフルエンザへの埋却作業等への対応について、県北広域振興局の佐々木局長が建設業協会二戸支部会館を訪問し、感謝を伝えました。

二戸支部では協会会員が一丸となって埋却作業に対応し、約5万羽の埋却を1月8日までに完了しました。

